

リーディングDXスクール事業【実践事例】

わかすぎ学園那珂市立菅谷東小学校



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる学習支援システムの活用

6年国語科の事例

単元名：やまなし

宮沢賢治は「五月」と「十二月」、それぞれどんな世界を伝えたかったのだろうか。

題材設定



前時までに「イーハトーブの夢」から考えた宮沢賢治の生き方や「五月」と「十二月」をイメージした絵を学習している。グループで本時のねらいに則した話し合いをした。

課題提示



中間共有



シートを2シート用意してそれぞれの意見を色ごとにまとめ、学級全体で共有した。

タブレット端末を用いた話し合い活動の様子

まとめ・ふりかえり



本時では、学習時にどのように問題解決に取り組むのか「考え方」「方法」「形態」についての話し合いを行った。児童は、オンラインでの意見共有アプリを使用し、課題に対しての自分の考えを交換をした。

中間共有では、まとめの際に、最終的な意見をまとめるための比較・検討を行った。

